

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人東北大学 学長 殿

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

S	当初の構想を上回る取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できたと評価できる。
---	---

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 東北大学

(検討会の所見)

- いくつかの実績と特徴のある精選された極めて高い目標を掲げ、それら全てに KPI も含めて着実な成果をあげている。我が国における大学の経営改革に関する基本的な考え方、効果的な手法を、研究拠点の作り方、海外展開の仕方、研究者の国際活動、産学共創、学長のリーダーシップ、ガバナンス、大学経営、(被災地としての)特殊事情の活かし方など、大規模総合大学が共通に抱える課題へのアプローチが実績と実例をもって示されており、他大学の目標と参考になるものである。コロナ禍さえもポジティブに捉え、DX の推進にも積極的に取り組んでいる。
- 国内屈指の研究大学として、コロナ禍にありながら、国際的な協業等も進展させている。併せて、震災の被災地に立地する大学として災害科学にも注力する姿は、国際的にも認められており、極めて高く評価できる。なお、本事業の期間中の取り組みは研究や社会連携の分野が中心だったように見受けられ、今後は総合大学としての教育面での質の向上にも取り組まれることを期待する。
- いずれの KPI も目標を達成しており、本事業の取り組みにより東北大学が目指す世界的研究拠点の形成、安定的な財務基盤の確立、大学経営力強化に向けたガバナンス改革に向けて順調に経営改革が展開されている。
東北大学の強みである特定分野の研究拠点形成と産学連携強化は極めて順調に進捗しているが、これらの成果を如何に全学的な教育活動に反映させていくのか、今後はそのような視点からの取り組みも期待される。
- 現在の学長のリーダーシップに大いに期待する。世界的に突出する研究大学に脱皮するには、国内の研究大学群のなかで傑出した研究人材の流動化をグローバルな視点からリードする必要がある。
- 財務基盤強化、世界トップレベル研究拠点の構築、アンダーワンルーフ型産学協創拠点の形成など、経営改革が構想通りに着実に実現されている。また、KPI も計画通り達成している。今後は、第二階層の強化・充実が図られることを期待したい。
- 大学が強みを持つ4領域において部局の枠を超えた全学のエクセレンスの結集は高く評価できる。一方で、東北大学の持つポテンシャルを十分に社会に活かされているとは言い難く、さらなる取り組みを期待したい。
- 順調に KPI をクリアして改革進行中である。しかし、世界でのトップ 30 入りを果たすためにはさらなる強力なアクションをとる必要がある。